論　文　内　容　の　要　旨

氏名	善財　聖也	専攻名	土木工学専攻	学籍番号	14TM306D
論文題目	充填コンクリートと鋼の剥離を考慮した矩形断面鋼製橋脚の地震時挙動				

クの挙で
ン脚のの
コ橋脚も
填製橋た
充鋼、し
と填で討
板充と検
鋼トこて
のるい
脚リすつ
橋ク析に
製ン解響
鋼コて影
填、っす
充しよぼ
ト目に及
一注法が
リに素離
ク象要剥
ン現限て
コ離有し
、剥を対
はの動に
究間挙力
研ト時耐。

施、に
、く加
は多増。
法は力た
工例耐き
強用やて
補利化れ
るの変わ
すその行
填、動が
充ら挙究
にかる研
部とよる
基こによ
のつとに
脚持こ析
橋をる解
製所すや
鋼長填験
をの充実
トどをの
一なトく
リさ一多
ク易リ、
リ地動あ
本一震や
研ト時耐。
ン容クてか
コのンいし
工コつ
リれ討り
繰いの
接たす強

わ検よやて離
ク行どに荷れ剥
ンがん達載さの
法は力たコ析と発調認で。
工例耐き填解ほの単確とい間離っの
強用やて充た、術、がもなト剥行つ
補利化れといは技りとのえ一、を5
るの変わ板づて析おこ重いリで析た
すその行鋼基い解てる荷はクと解し
填、動が、につ値れす震とンこ答生
充ら挙究は定に数わ少地だコる応発。

をし力の
離現入波
剥離表。震
のをた地
間離っの
行がん達載さの
認で。

加座こ変をぼ、しにっれ
増部るは査ほ方一性よさ
が局す布照、一統用に定
位で慮分震で。、使と判
変板考力耐とたりのこと
答鋼を応のこっな後る上
た応の離のルるな異震す階
れ部部剥板デすとは地慮段
ら頭填、鋼モ慮果果、考1
得柱充との各考結結たをが
が、トる部、をるでま離度
り一み填て離す波。剥傷
結よリを充し剥達震たで損
布ト対、に地っ波の
なにク
基こによ研する近析力すがとをの本てなにク布ト対、に地っ波の
のつとにるとえ、解耐視討板法脚日いうとン分一には態各か震脚
脚持こ析よい与がた大重検鋼解橋に用よこコ力リ波で状、な地橋
橋をる解になにだし最も、、触製去をする、応ク震法局は来の、
製所すや析じ脚。慮、最はは接鋼過の示すは、ン地査終で出数し
鋼長填験解生橋た考でで、填、もに慮でにコ力照く合は複加
をの充実のはがっをと脚い究し充てた下考波らの入位早場と、増
トどをの来離離か離も橋つ研定トしし以を震さ部、変でのこはが
一なトく従剥剥な剥の、に本仮一と出、離地。基に、波法るで位
リさ一多、の、この荷方ど、とリ波抽果剥のた脚次合震査得査変
ク易リ、し間りて例載一なで題ク震を結、部じ橋。場地照を照留
ン容クてかトおれ数し。響こ問ン地部のず一生、るたのみ果る残
コのンいし一てさ、返る影そ触コる震そま、がですってず結す、。
工コつ
リれ討り繰いの
接たす強
し屈と化行全ひた関てた

指導教員　清水　茂　教授